
少年少女発明クラブ

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 年間を通じ月1回土曜を活動日とし、工作などの活動を通して子どもの科学への知識や理解を深める。

○期間 平成28年4月9日～平成29年3月4日 各土曜日(計14回) (計32時間)

○対象・定員 市内在住の小学生・20人

○参加者 16人 参加延べ人数 247人

○講師 発明クラブ指導員 横山 仁 他8人

○事業内容

回	月 日	時 間	内 容
1	4月 9日(土)	午前10時～正午	開講式・オリエンテーション
2	5月14日(土)	午前10時～正午	基礎学習(道具の使い方)Ⅰ
3	6月 4日(土)	午前10時～正午	基礎学習(道具の使い方)Ⅱ
4	6月18日(土)	午前10時～正午	楽しい木工
5	7月 9日(土)	午前10時～正午	ペットボトル風車作り
6	7月16日(土)	午前10時～ 午後3時30分	ペットボトルロケット
7	8月20日(土)	午前10時30分～ 午後3時30分	館外学習 日本科学未来館
8	9月 3日(土)	午前10時～正午	モーターを使った動くおもちゃ作り
9	10月15日(土)	午前10時～正午	パソコンのプログラミングゲーム 「アルゴリズム体験」
10	11月12日(土)	午前10時～ 午後0時30分	ストローヘリコプター作り
11	12月17日(土)	午前10時～正午	クリスマスケーキ作り
12	1月14日(土)	午前10時～正午	LED を使い音に反応する「ドレミーノ」作り
13	2月18日(土)	午前10時～正午	ダンボールクラフト ASIMO 作り
14	3月 4日(土)	午前10時～11時	閉講式

○ま と め

最初に道具の使い方について基礎学習を行った後、様々な工作に取り組んだ。今年度は市内のサンケン電気株式会社の社会貢献事業による音に反応してLED電球が光るドレミーノをハンダ付けして製作した。また、本田技研の社会活動、ドリームハンズというチームによるダンボールクラフトでアシモを作り、未来のロボットについての話が聞けた。色々な体験を通してもの作りや科学に対する興味を深める機会となったと思う。

絵本とおはなしクラブ

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 幼児や小学生を対象に季節に合わせた読み聞かせや紙芝居、手遊び等を行い、読書の楽しさを伝える。
- 期間 平成28年6月25日～平成29年3月28日 (計4回)
- 時間 計4時間40分
- 対象・定員 市内在住の幼児から小学生までの子どもと保護者・20人
- 参加者 参加延べ人数 40人
- 講師 読み聞かせボランティアグループ絵本の会「四季」、おはなしオルゴール、ふろしき座
- 事業内容

回	月日	時間	内容
1	6月25日(土)	午前10時～ 11時	大型絵本や大型紙芝居の読み聞かせ及び七夕の折紙など
2	7月22日(金) 夏休みおはなしパーティー	午前10時～ 11時20分	大型絵本や大型紙芝居の読み聞かせ、手袋人形、パネルシアター、手遊び、エプロンシアター、バルーンアートなど
3	12月10日(土) クリスマスパーティー	午前10時～ 11時20分	大型絵本の読み聞かせ、クリスマスソングパネル芝居など
4	3月28日(火) 春のおはなし会	午前10時～ 11時	紙芝居や大型絵本の読み聞かせ、折紙遊びなど
計		4時間40分	

○まとめ

今年度は4回講座を開催した。1回目は絵本の会「四季」単独での読み聞かせなど、2回目は「四季」と「おはなしオルゴール」による読み聞かせや人形劇等、3回目は「四季」と「ふろしき座」による読み聞かせやパネル芝居等、4回目は「四季」単独での読み聞かせと紙相撲作りという内容だった。4回目は保育園の年長児11名を先生が引率して連れてきてくれた。

いずれの会も集客に苦勞し、近隣の支援センターのある保育園や児童センター、図書館にポスター、ちらしを依頼したが、少ないながら効果はあった。

来年度は、絵本の会「四季」の方に当公民館を使って活動してもらい読み聞かせ活動につなげていき、講座としては七夕とクリスマスの時期に行う予定である。

サマースクール

～雪の結晶などをつくる～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 夏休みに子どもに科学に触れ興味をもってもらう。
- 期間 平成28年8月6日・27日土曜日（計2回）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 16人 参加延べ人数28人
- 講師 NPO 法人科学芸術学際研究所 ISTA
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	8月6日（土）	ペットボトルに糸を垂らしてふたを閉めて発泡スチロールの箱に入れ、周りにドライアイスを入れて冷やし、糸に雪の結晶が付くのを観察した。
2	8月27日（土）	丸い棒を垂直に台に立て、クリップや竹の棒やゴムチューブで滑り止め加工した薄い平たい竹棒に重りをつけ上から落とすと反動をつけながら下りてくるので、それにキツツキの絵を貼りあたたかも木をつつきながら虫を探しているように見えるおもちゃを製作した。もう一点は、針金を台形に折り曲げ四隅に輪を作りその輪にひもを通し、交互に引くと台形が左右に振れながら登ってゆくおもちゃの製作をした。

○ま と め

雪の結晶は千差万別で二つとして同じものがないとのこと。しかし、その構造はどれも六角形でこれは水の原子構造からくるとの説明を受け、自然の作る造形美の不思議さを体感した。

2回目は重力を利用したおもちゃを作った。重力の原理についても説明を受け、他に重力に関係のあるおもちゃを持参し披露してくれた。曲芸師が後ろに回転しながら階段を下りる様や、バランスだけで坂道を下りる四足のおもちゃに参加者は目を輝かせて見ていた。

夏休み子どもルーム

～はばたく鳥のモビール作り～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 夏休みに工作教室を開催し、ものづくりを体験する。
- 期 間 平成28年8月24日（水）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 7人
- 講師 公民館職員
- 事業内容 あらかじめ白鳥の形を羽、胴体、尾、足など7つのパーツにボール紙に描いたキットを用意し、はさみで切り抜き、のりで貼り組立てた。バランスをとったあと、羽の部分に穴をあけ糸を通して結び、木の枝に通してバランスをとり完成させた。
- まとめ
3年生から6年生までの7人で実施。少人数なので、到着した人から順次作業に取り掛かり、糸を通して結ぶ作業も無難にこなしていた。少人数のため、きめ細かに指導することができ、出来栄に個人差もあまり見られず、完成品を大事そうに持ち帰った。

節分スイーツ作り

～みんなで作って鬼退治！！～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 小学生を対象に地場産の野菜等を利用した節分にちなんだお菓子作りを行い、伝統行事に親しむ。
- 期間 平成29年1月21日(土)
- 時間 午前10時～午後0時30分 (2時間半)
- 対象・定員 市内在住の小学生・16人
- 参加者 16人
- 講師 管理栄養士 鈴木 香、相野 香
- 参加費 実習材料費 300円
- 事業内容 節分の赤鬼さんケーキを作る。

○まとめ

毎年人気の小学生対象のスイーツ作り講座だったが、近隣小学校の土曜授業日と重なりなかなか定員にならなかった。講座の計画をするときは、学校等の行事の日程確認を事前にしておく必要がある。

3日前にJ:COMから撮影依頼があり受諾したが、参加者全員に撮影可否の確認の電話をするのが前日となってしまった。しかし、その際、体調不良や土曜授業によるキャンセルの4人がわかったので、何とか4人の補充ができた。4人のうち2人はキャンセル待ち、残り2人は参加者の兄や友だちに参加してもらった。

今回は、5、6年生が3人だけで低学年が多かったので、講師は安全に配慮した作業内容を考えてくれた。ケーキ生地作りが作業が少なく、高学年にはちょっと物足りない気がしたが、デコレーションで自分らしい工夫ができたので満足した様子だった。異年齢の子どもたちが協力して作業する料理教室は良い体験となると思う。保護者は食べる前に来館して出来栄を一緒に楽しんだ。「節分」を意識できる楽しいスイーツ作りだった。

ずっとJ:COMの撮影があったためか、子ども達は口数も少なく緊張した面持ちだった。

茶の湯の歴史

～「侘び茶」・利休への道程～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 時代とともに変遷してゆく茶の湯の歴史について学ぶ。
- 期間 平成28年5月20日～6月3日までの毎週金曜日（計3回）
- 時間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 39人 参加延べ人数 97人
- 講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	5月20日（金）	室町時代の北山文化・東山文化にみる茶会の形が、利休によってどう変化していったかについての解説
2	5月27日（金）	
3	6月 3日（金）	

○ま と め

室町時代は、明との貿易により輸入されたものと和物の融合一体化が成立し、漢詩と和歌が両立するといったような、三代足利義満による金閣寺（北山文化）、八代足利義正による銀閣寺（東山文化）といった文化が開花した。

唐物といわれるものに価値をみだし、阿弥衆といわれる鑑定する人が出現した。室町時代の「茶の湯」は、床の間に複数の掛け物を飾り、飾り棚にはたくさんの道具類が並べられ、食事も用意された。信長・秀吉に仕えた利休は、「茶の湯」に精神性を求め、茶室も四畳半から一畳半まで狭くしていった。「茶の湯」を通して政治的な立場に変容してゆく過程を資料を読み解きながら解説して頂いた。江戸時代になると「茶の湯」は武士と町人に分離され、様式も変化していった。三千家といわれる、表千家、裏千家、武者小路千家が伝統を継いでいる。

最近「茶の湯」はすっかり習い事と化してしまった感があるが、床の間に掛けられている書を読み、内容を理解し、利休がなぜ切腹に至ったのかといった背景や歴史について、深い教養を身につけることで、その世界が広がるのだと感じた。

初めてのやさしい中国語

～ニーハオ楽しく学ぼう中国語会話～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 中国語を初歩から学ぶ。
- 期間 平成28年5月10日～5月24日までの毎週火曜日（計3回）
- 時間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 19人 参加延べ人数 48人
- 講師 東京経済大学非常勤講師 雷 叢晶

回	月 日	内 容
1	5月10日（火）	挨拶、自己紹介など
2	5月17日（火）	数の数え方、日本ゆかりの唐詩を読む
3	5月24日（火）	料理、メニューの読み方、日本ゆかりの唐詩を読む

○ま と め

じわじわと受講希望者が増えて19人で開始した。事後アンケートによると、中国語の体験者や漢詩を学んでいる人もいて、中国語への関心の高さがうかがえた。しかし、難しいと感じた人もいたので、語学の学習はスピードの調整が難しいと感じた。講師の解りやすく教えようという熱意が参加者にも伝わったようだった。

参加者の名札（A4サイズ2つ折り）に講師に中国語読みをつけてもらい、発音練習に活用した。名前の練習に限らず、挨拶や簡単な会話の発音練習も一人ひとり行ったが、10人を超えると待ち時間も多くなり、十分な時間がとれなかった。全体的に内容が盛りだくさんだったと思う。

もっと学習したいという声があり、サークルとして活動することになった。講師の雷先生に引き続き指導をお願いすることになった。

フェルティング講座

～カラフルもこもこブローチを作ろう～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 羊毛フェルトを使って自分だけのブローチ作りに取り組み手作りの楽しさを味わう。
- 期間 平成28年6月7日～21日の火曜日 (計3回)
- 時間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 7人 参加延べ人数 19人
- 講師 アートエデュケーター 菖蒲澤 侑
- 事業内容

回	月日	内容
1	6月7日(火)	フェルトの仕組みと簡単ブローチ
2	6月14日(火)	動物ブローチ又はバラの花ブローチ
3	6月21日(火)	石けん水で球作り、好きなモチーフ作り

○まとめ

保育付き講座として企画募集したが、希望者無しで保育を中止した。材料の用意は全て講師にお願いしたが、ニードル(針)が折れやすく替えのニードルをもらった人も数人いたので材料費500円では厳しかったのではないかと思う。羊毛をもらって家で作って来た人もいたので、その羊毛も講師の好意に甘えさせていただいた。作業しながら講師に質問したり、手直ししてもらったりと、それぞれのペースで取り組むことができた。出来上がった作品は、6月21日から7月5日までロビーに展示した。



エコ・プラスチック絵画講座

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 洗剤容器やパッケージなどに使われているプラスチックを利用して絵画を作成し、捨てるものを利用した作品作りの一例として体験し、資源の活用について考える。

- 期間 平成28年6月9日・16日木曜日（計2回）

- 時間 午前10時～正午（4時間）

- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・16人

- 参加者 2人 延べ参加人数4人

- 講師 宮内 龍雄 アシスタント2人

- 事業内容 講師があらかじめ描いた絵を土台にして、容器などから採取した色とりどりのプラスチックを米粒大に細断し、接着剤をつけて絵の上にツマヨウジを使って貼ってゆき、絵を作る。

○まとめ

4月に入るとすぐ募集のために講師から借りた作品4点、土台となる絵3枚及び講師の作品集を展示し、制作方法の説明を添えて参加者を募った。展示を見ている人がいると説明し勧誘をしたが、見て感心する人は大勢いたが、参加するには尻込みする人が多く参加者が集まらなかった。参加した2名は、講師の指導を受けて熱心に取り組み、2回の講習ではとても作品の完成までは行かないことは計画の段階で分かっていたが、制作の続きは毎週同じ曜日と時間でロビーで指導して頂けることになった。エコをテーマに捨てられる物を利用して作品にするという視点は良かったが、講座としては難しかった。

ベトナム料理で国際交流

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 国際交流の一環で新座市国際交流協会と共催でベトナム料理をつくる。
- 期間 平成28年9月17日(土)
- 時間 午前10時～午後1時 (計3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方20人
- 参加者 22人
- 講師 新座市国際交流協会会員
- 参加費 600円
- 事業内容 新座市国際交流協会の紹介で、日本で永住しベトナムの研修生の支援を続けているベトナム人女性がメインの講師となって揚げ春巻き、なます、ブンチャー(つけ麺)を4班に分かれて作った。国際交流協会の方も5人来て手伝って頂き、できた料理を食べながら、楽しい時間を過ごした。

○まとめ

新座市国際交流協会の事務局である新座市コミュニティー推進課と調整を図りながら公民館事業と共催で開催した。申込みはコミュニティー推進課で行い、会場や当日の受付を公民館で行った。男性も6人参加し積極的に包丁で野菜を刻んだり、春巻のかわを水に浸し具を巻くなどの作業をこなした。各料理にはナンプラーという魚醤が使われ、和食とは少し違った香と味わいを楽しんだ。ベトナムは、日本と食生活が大変よく似ていて、普段は米を主食にしているそうである。ベトナム人の若い男性研修生も参加した。材料費を一人1000円集めたが、600円で上がったため400円を返金した。今回の参加者の中から3人の方が新座市国際交流協会の会員になられた。

そば打ち講座

～新そばを打って、旬を味わう～

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 新そば粉収穫時期に合わせ、そば打ちの体験をかね合わせて畑中公民館サークルの育成を図る。

○期間 平成28年10月22日(土)

○時間 午後1時～3時30分 (計2.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人

○参加者 14人

○講師 新座手打ち蕎麦同趣会

○参加費 実習材料費 一人1,000円

○事業内容 講師のデモンストレーションの後に5班に分かれ、それぞれの班に一人ずつサークルの講師が付き、そば粉をこねることから始め、菊ねりの仕方を教わりながら、伸ばし、切るなどの実習を代わる代わる行い、そばを120グラムずつ、そばをラップに包んで乾燥を防ぎ、ゆでる時も120グラムずつ行い、水でさらした後、冷水につけザルに盛った。自分で打ったできたてのそばを試食した。

○まとめ

14人の参加で4班に分かれ、それぞれにサークルの講師が付いて指導して頂いた。一組の夫婦を含む男性8人、女性6人の参加であった。少人数で、ほぼマンツーマンで教えて頂けたのでよく体得できたと思う。教えてもらえる雰囲気がとてもよいと、サークル入会のパンフレットを持ち帰っていく受講者もいた。

すくすく学級

～笑顔で子育て～

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 2、3歳の幼児と保護者を対象に子育てについて多方面から学び仲間作りを目指す。

○期間 平成28年10月26日～11月16日までの毎週水曜日（計4回）

○時間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住の2・3歳児と保護者・15組

○参加者 11組20人 参加延べ人数58人

○保育 10人

○参加費 実習材料費500円

○講師・事業内容

回	月日	内容	講師
1	10月26日(水)	親子で楽しく体を動かそう	親子体操インストラクター 佐藤由利香
2	11月2日(水)	・仲良しになろう ・親子で楽しむお話し会	公民館職員 おはなしカスタネット
3	11月9日(水)	風邪に負けない体を作ろう～新座の野菜を使った和食ランチ～	管理栄養士 鈴木 香
4	11月16日(水)	子どもの本「はじめて絵本」入門	新座市立中央図書館職員

○まとめ

とにかく、参加者集めに苦労した。早い時期（募集開始前）からポスター、ちらしで事業案内をするべきだった。特に、地域子育て支援センターへの働きかけが有効だった。また、近隣の公民館、コミュニティセンターとの情報交換も大切だと思われる。

募集人数割れではあったがその分、母親同士は打ち解けやすかったようだった。2回目の「仲良しになろう」では、子育てのQ&Aを母親同士でどンドン話し合っていた。もっとやって欲しいという声が多かった。

調理実習は4グループに分かれて作った。正午までに保育引き取りするとなると、慌ただしい。4回目の図書館職員による講義は、たくさんの絵本を持参してもらい今後の絵本選びに役立つのではないと思われる。

今回は2歳未満が4人いたので保育も手がかかったとのことだった。

文化財保存と修復の現場から

～岡倉天心の理念～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 文化財を後世に残す意義と理念について、現場からの話を聞く。
- 期 間 平成28年11月30日（水）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 27人
- 講師 東京藝術大学大学院美術研究所
文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室 助教 鈴木 篤
- 事業内容 国宝や重要文化財となっている仏像の修復を行う上での理念として現状維持、可逆性、当初部の最優先の三つを念頭に作業を行っている。仏像は時代によって使われた木材がクスノキ、カヤ、ヒノキと変化し、修復のときに材料が判明する場合もあり、また仏像内部から修理記録が発見され、国宝に指定された場合もある。構造について、一木造りと寄木造りの解説。木材は芯に向かって放射上に亀裂が入る話を交え、修復した仏像のビフォー、アフターをプロジェクターで映しての解説や、予め送り届けられた木造を作る過程の状況が分かる模型や丸太のサンプルなどを見せての説明を受けた。

○ま と め

明治初期の廃仏毀釈により、日本の文化財の危機的状況を目の当たりにした岡倉天心がその、保存、修復について掲げられた理念は現在も受け継がれている。当初の講座立案のときは、その先見性はどのように生まれたのか、人間岡倉天心の人物像に迫りたく企画したが、交渉過程で実際の現場の話が中心になってしまったが、この種の講座はあまり公民館では開催されてこなかったが、受講者は興味を持ち説明に聞き入り、質問もしていた。最新のテクノロジーを駆使することで、仏像の断面など、今まで知ることが出来にくかった形状を知り比較検討することで、仏像の外見の顔形だけでは予想もしなかったことが、データを比較することで共通することが見えてきたそうである。角度を変えて見る、見方を変えることで新しいことに気付くということを学んだ。

水彩画を学ぶ

～向山庭園を描く～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 水彩画について、技法や構図の取り方について学ぶ。
- 期間 平成28年10月6日(木)
- 時間 午前10時～午後1時 (計3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 7人
- 講師 水彩画家 南雲 義男
- 事業内容 練馬区の豊島園駅から100メートルほどのところにある練馬区立向山庭園に集合し、スケッチポイントを紹介し、制作中に講師が回って指導して頂いた。

○まとめ

台風18号が4、5日前から関東地方をうかがっており、当日の天候が気になっていたが、コースがやや北にそれ、スピードを増して東に抜けそうだったことから、前日まで待って決行した。台風の運んだ暖気のため10月にしては観測史上最高の30度を超える暑さとなった。そのためか、蚊の来襲がものすごく、絵の制作に熱中していると足や手に数十匹ほど群がっているような中で、蚊よけスプレーで蚊をよけたり、風通しのよい場所に移動したりして、絵を描いた。完成後に集合場所に集まって、作品を並べて先生に講評していただいた。

水彩画を学ぶ2

～小山台遺跡公園を描く～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 水彩画について、技法や構図の取り方について学ぶ。
- 期間 平成29年3月9日（木）
- 時間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 12人
- 講師 水彩画家 南雲 義男
- 事業内容 東久留米駅の西方400メートルほどのところにある小山台遺跡公園内でスケッチ場所に選び、構図のポイントを紹介し、制作中に講師が回って指導をして頂いた。

○まとめ

寒さが峠を越し風もなく穏やかな晴天に恵まれ、東久留米駅の富士見テラスからは富士山がよく見えた。線路沿いを歩き黒目川を渡り、小高い丘が見えてくる。階段を登り丘の上に着くと日当たりのよい芝生にベンチが数箇所設置され、縄文時代の家の跡が保存されていた。辺りは雑木林に囲まれ、脇を西武池袋線が通り、小高い丘からは眼下に住宅の屋根が連なり、駅周辺の鉄筋のマンションやスーパーの高い建物の影が見え、田無タワーの塔がかすんで見えるという景色で、公園内を各自思い思いのスケッチポイントを探して絵を描いた。完成後に縄文の家の跡の前に集合し、作品を並べて先生に講評して頂いた。

諸子百家の思想

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 古代中国の孔子、孟子、老子、荘子、荀子、墨家、法家の思想や時代は下って朱子や洪自誠の「菜根譚」などのエッセンスから、人間いかに生きるべきかを学ぶ。

○期間 平成28年11月8日～29日までの毎週火曜日（計4回）

○時間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人

○参加者 45人 参加延べ人数145人

○講師 学習院大学講師 林 東洋

○事業内容

回	月 日	内 容
1	11月 8日（火）	諸子百家と百家争鳴 儒家の思想 孔子・孟子
2	11月15日（火）	道家の思想 老子 『老子道德経』
3	11月22日（火）	墨家の思想 墨翟 『墨子』
4	11月29日（火）	兵家の思想 孫子 『孫子』

○ま と め

諸子百家という今から2500年前の中国の春秋戦国時代に、多くの国が統合されていく過程に起こった思想について比較しながら学んだ。キリスト教のアガペーやギリシャのエロースやプラトンのアイデアなど、西洋哲学についても紹介しながら興味を尽きない講義であった。印象に残ったのは、短期間で統治を果たすには法家の思想が優れるが、社会の安定を長続きさせるには徳治主義の儒家の思想といったようにその特性について触れ、秦の始皇帝を例に、法家で短期間に統治に成功したが長続きはしなかった。儒家を弾圧し焚書坑儒を行ったのは有名である。墨家は民主主義の致命的欠陥の衆愚政治に陥ることを見抜いていた。兵家はいかにして戦いに勝つかをメリットとデメリットで説くなど、現在にも通じるものが多く、歴史や古典を学ぶ意義を感じた。

諸子百家の思想 2

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 古代中国の孔子・孟子・老子・荘子・荀子・墨家・法家の思想や、時代は下って朱子や洪自誠の「菜根譚」などのエッセンスから、人間いかに生きるべきかを学ぶ第二弾

○期間 平成29年3月7日～28日までの毎週火曜日（計4回）

○時間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人

○参加者 52人 参加延べ人数167人

○講師 学習院大学講師 林 東洋

○事業内容

回	月 日	内 容
1	3月 7日（火）	『孟子』という書物
2	3月14日（火）	『孝経』という書物
3	3月21日（火）	『荘子』という書物
4	3月28日（火）	『列子』という書物

○ま と め

11月に開催した講座の第二弾。儒教は父を大切にするという男女差別が根本にあることを認識しながら読む必要がある。自分が高位にいてもおごり高ぶらず節制し、行いを正し、満ちても溢れることがないようにすることが富を長く守る道理であるとの教えは、エコな生活にも通ずることに気づかされた。

日本は長く儒教や仏教の影響を受け、自我というものを否定する伝統的な考え方とデカルトの「我思うゆえに我あり」のように自我を肯定する西洋思想と対比し、森鷗外や夏目漱石ら明治の文豪は自我とは何であるかと葛藤し作品を世に出したという経緯を説明して頂いた。

文系の学問というのは、年を経ることで見えてくる世界もあるということに改めて気づかされ、歳をとったらとったなりの感性があることへの楽しみと希望を感じる事ができた。

2時間でできる簡単おせち

～手作りのおせち料理で新年をお祝いしませんか～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 お正月を前に手作りおせちを学び役立てるとともに手作りの楽しさを味わう。
- 期間 平成28年12月22日(金)
- 時間 午前10時～午後1時(3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・16人
- 参加者 20人
- 講師 前田 純子
- 保育 4人
- 参加費 実習材料費 1000円
- 事業内容 おせち料理(のしどり、伊達巻、クルミごまめ、きんとん、しんじょの雑煮、ローストビーフの巻き寿司)を作る。
- まとめ

当初、保育サポーター4名の予定だったが、保育希望4名で1歳児もいたので、3名で保育してもらった。参加者の年代は幅広かったが、みなで協力し、和気あいあいとした雰囲気を実習できた。メニューは六品で盛りだくさんだったが、2時間ちょっとで出来上がり、ゆっくり試食出来た。材料混ぜはビニール袋の中で、雑煮の盛りつけは餅が椀につかないようくり抜いた後の野菜を下に敷くなど、日常の料理に役立つアイデアを教えてもらい、参加者は熱心にメモを取りながら料理に取り組んでいた。

しんじょ作りはフードプロセッサーが無いのですり鉢でやってもらった。また、炊飯器に保温機能が無いためご飯が冷めてしまったが、レンジで温めて使った。

皆さん出来栄えに満足の様子だった。

家庭教育学級企画準備会

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 第四小・陣屋小及びPTAと連携し、家庭教育をテーマとした講演会を開催する。

○期間 平成28年7月21日（木）、9月2日（金）、9月29日（木）、11月24日（木）、平成29年2月16日（木） 午前10時～11時（計5時間）

○対象・定員 第四小・陣屋小の保護者 4人

○参加者 4人 参加延べ人数 19人

○事業内容

回	月日	内容
1	7月21日（木）	自己紹介、平成28年度家庭教育学級の実施について
2	9月2日（金）	講師について、今後の予定及び役割分担について
3	9月29日（木）	実施内容について、参加者募集の広報活動について
4	11月24日（木）	当日準備のための最終確認と打ち合わせ
5	2月16日（木）	事業報告について、反省点について

○まとめ

地域の家庭教育の推進を目的とした家庭教育学級を昨年度から開講し、今年度も第四小、陣屋小及び各校保護者会会長に対し、7月に企画準備委員の推薦についての依頼を行った。

各校から2名ずつ推薦された委員と地域の子どもたちや保護者が現在抱える問題について、企画準備会で活発な協議を行い、内容及び講師を決定した。

講演会当日は、各校の役員が司会・受付・駐車場係・会場準備及び後片付け等の役割を分担して行った。

開催後の反省会では、来年度以降は各学校ごとに企画運営していくことになった。公民館としては、保育や会場について協力出来るということを確認した。

家庭教育学級講演会

～元ガミガミママの親業講座～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 近隣の小学校及びPTAと連携し、家庭教育をテーマとした講演会を開催する。
- 期間 平成29年2月4日(土)
- 時間 午前10時30分～正午 (1.5時間)
- 対象・定員 各校保護者及び市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 51人
- 講師 親業訓練インストラクター・埼玉県家庭教育アドバイザー
生駒章子
- 事業内容 親業について、ロールプレイを取り入れた講演会を行う。

○まとめ

昨年度から近隣の第四小・陣屋小・各校保護者会と共催で、地域の家庭教育の推進を目的に家庭教育学級を実施し今年度で2回目となった。各校のPTA代表者が委員として参加した企画準備会で協議の結果、講演会形式で行うこととなった。参加者募集は、各校分は保護者でとりまとめをし、一般の人は市報で募集を行った。

当日は、「親教育」として子どもとの接し方、子どもの話の聞き方、子どもとのコミュニケーションについて自身の体験を踏まえ、また参加者同士による実践を通じて子どもとの良い関係作り、自分育てのヒントのお話をしてもらった。当日の運営は、各校保護者会役員と公民館が協力して行った。

終了後、両校の保護者からは、来年度は各学校ごとに事業を継続したいという意見が出ていた。

歌舞伎の世界への誘い

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 歌舞伎の映像や浮世絵をDVD等見ながら角度を変えて見た面白さについて学ぶ。

○期間 平成29年2月2日・3月2日の木曜日 (計2回)

○時間 午前10時～正午 (計4時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人

○参加者 46人 参加延べ人数 86人

○講師 清泉女子大学講師 武藤 純子

○事業内容

回	月 日	内 容
1	2月2日(木)	映像で楽しむ名優・花形役者の芸
2	3月2日(木)	模様・色から楽しむ歌舞伎の世界

○ま と め

参加者の中には相当な歌舞伎通の方もいて、月に数度出掛けられるという方もいた。DVDの映像やパワーポイントを使って浮世絵を見ながら解説していただき、大変分かりやすかった。

解説がないと日本人でも分かりづらい歌舞伎だが、ファッションやファンタジーやショーを見るつもりで見て構わないとのこと。筋書きも複雑で現実離れしていたりするので、理屈で見ようとすると戸惑うことが多いかもしれないとのこと。役者が着ている着物の模様や色で、役者の名前や時代まで分かるなど、決まりごとを覚えたり、判じ絵を解いたり、歌舞伎にはいろいろな見方楽しみ方があるのだと気づかされる楽しい講義であった。

整理収納講座

～片づけは人生の棚おろし～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 高齢期のシンプルな生き方を整理収納を通して考える。
- 期間 平成29年3月15日（水）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 57人
- 講師 生活研究家・消費生活アドバイザー 阿部 絢子
- 事業内容 片付けは、物と決別する決断が必要で、片付けのコツは小さな所から始め全部出してこの先必要か不必要かを即決で二分する。次に必要な物を使用頻度で3分類し、迷った物を一時置きしても3週間後には決断する。
整然と片付いている場所と散らかっていてもよいところとのメリハリをつけ、見慣れた風景も他人の目を通して見ると気がつくので客を呼ぶことも必要とのことであった。また、片付けは性格的なものも影響するので、10項目の質問で自分がどういう傾向にあるかを知る方法も紹介して頂いた。
- まとめ
人生は決断の連続で二つの道を同時に選べない。決断の結果が良かったと思えるか、先の暮らしをどう楽しむか、そのためには諦めも必要な時がある。阿部先生の「自分の暮らしは自分で作る。」「大切なのは時間をどう使うか。」「少し不便で便利な暮らしが豊かさ。」といった人生哲学、生き方を学ぶことで片付かない人の悩みの根本と向き合う機会になったと思う。

歴史街歩き

～上野・谷中・千駄木界限～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 歴史に関係のある場所を訪ね解説を聞き理解を深める。
- 期間 平成29年3月22日(水)
- 時間 午前10時30分～午後2時30分 (計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋・東京女子大学講師 金子 元
- 参加費 3,000円
- 事業内容 上野駅公園口改札に集合し、天海僧正遺髪塚、彰義隊の墓、西郷隆盛像、儒教学問所碑、清水観音堂を見学し、改修が終わったばかりで金箔が燦然と輝く東照宮を見学後、根津神社へ向かった。境内にある乙女稲荷や道祖神の説明を受け、森鷗外記念館見学後、団子坂下交差点付近で昼食をとった後、寺院が密集した地域にある大圓寺などを回り、日暮里駅に近い朝倉彫塑館を見学し、西日暮里駅方向に歩き諏方神社に寄り、最後に大田道灌が砦を築いた場所とされる道灌山へ行き、眼下に広がる低地と土地の高低差を確認し解散した。
- まとめ
前日は一日中雨が降ったが、一日違いで好天に恵まれ散策には絶好の日和となった。前日桜の開花宣言もあり、立ち寄る所々の桜のつぼみは先がほんのり桜色になっていた。上野公園では意外と知られていない前方後円墳の跡を教えていただいた。森鷗外記念館へ向かう途中に都心では貴重な雑木林を見学した。

親子パン教室

～パンから手作りのハンバーガー～

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨　　パン作りを親子で体験し、手作りの楽しさ、大切さを学ぶとともに、公民館実習室の活用を図る。
- 期　　　　　間　　平成28年7月2日（土）
- 時　　　　　間　　午前10時～正午（2時間）
- 対象・定員　　市内在住の小学生親子 計20人
- 参加者　　　　21人
- 講師　　　　　サークル講師 前田 純子
- 参加費　　　　実習材料費 一人500円
- 事業内容　　　親子でクマちゃんバーガー、チーズコンソメスープ、サイダーゼリーポンチ、フライドポテトを作る。
- まとめ

毎年恒例となっている大変人気の講座で今年も受付開始後すぐに定員となってしまった。1組4人という申込みもあり、8組21人となり、一人父親の参加があった。講師とアシスタントの二人の手際良い準備と指導のおかげで、スムーズに実習できた。クマちゃんバーガーは、ハンバーグもパンも手作りで、パンの顔に工夫が見られ個性豊かなハンバーガーが焼き上がり、食べるのが惜しいという声があちらこちらで聞こえた。サイダーゼリーポンチはスイカを入れたゼリーが涼やかで、季節にぴったりのデザートだった。サイダーが苦手というお子さんが一人いて、サイダーは少しだけになっていた。受付時に事前チェックは出来なかった。お母さん方が調理の合間も食後もてきぱきと片付けしてくれたが、12時半終了予定にした方が余裕ができると思う。



新春和太鼓コンサート

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 公民館サークルの活動支援を兼ねて新春の時期にコンサートを開催する。

○期間 平成29年1月7日(土)

○時間 午前11時～正午 (計1時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人

○参加者 77人

○演奏者 公民館サークル和太鼓鼓輪

○事業内容 約10曲ほどの演目を解説交えて演奏した。

○まとめ

畑中公民館を拠点に活動しているサークル和太鼓鼓輪による新春の初打ちで、約25名の演技者が息の合った演奏を披露してくれた。太鼓の響きが観覧者の体に響き、お正月らしい元気がもらえるコンサートとなった。



人権講座

〈畑中公民館〉

○開設趣旨 超高齢化社会を迎え、日常生活の中で、どうすれば高齢者の人権が守られるかについて考える。

○期 間 平成28年11月5日（土）

○時 間 午前10時30～11時40分（計40分）

○対象・定員 公民館サークルの代表

○参加者 46名

○事業内容 「ここから歩き始める」という兵庫県が作成したDVDで、認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎ直しを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていくうえで大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマを視聴した。

○ま と め

利用者懇談会の会議終了後に毎年実施しているもので、今年度は高齢化社会の認知症についての映像であった。他人事とはいえぬ、身につまされる内容で、参加者は食い入るように真剣な眼差しで映像を見ており、涙する人もいた。

アフタヌーンコンサート

～ヴァイオリンとピアノの調べ～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 ヴァイオリンとピアノのコンサート

- 期 間 平成 2 8 年 1 1 月 2 9 日 (火)

- 時 間 午後 1 時 3 0 分 ~ 2 時 3 0 分 (計 1 時 間)

- 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の方 ・ 1 0 0 人

- 参 加 者 6 7 人

- 演 奏 者 ヴァイオリン 大塚 野乃子 ・ ピアノ 米根 弥恵

- 事 業 内 容 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
 ♪ ヴァイオリンソナタ第3番 変ホ長調 作品12
 モーリス・ラヴェル/ツィガーヌ
 ♪ 音楽会用狂詩曲
 ロベルト・シューマン
 ♪ ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第1番イ短調 作品105

○ま と め

公民館のロビーコンサートなどで過去に演奏を依頼したことのある本市出身のヴァイオリニスト大塚野乃子さんから申出でボランティアで演奏会を開催した。同人は、12月に社会福祉法人にいざの主催で、新座市・同教育委員会等の後援で演奏会を開催する予定でその準備を兼ねて事前に演奏会を開催したいとのことから開催したものである。

秋の午後のひと時、ヴァイオリンによるクラシック音楽で安らかな時間を過ごした。

ちよいそこ学級

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 高齢者の楽しみ発見とコミュニティーづくりを目指す。
- 期間 平成28年10月13日～11月17日までの毎週火曜日（計5回）
※11月3日を除く。
- 時間 午前10時～正午
（館外学習、午前8時30分～午後4時）（計16.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の50歳以上の方・50人
- 参加者 34人 参加延べ人数 94人
- 参加費 館外学習実費 1200円
- 事業内容

回	月日	内容	講師
1	10月13日（火）	歌の宅配便	音楽家 広井 顕真
2	10月20日（火）	出前講座「わが家の耐震対策」	市役所建築開発課職員
3	10月27日（火）	館外学習事前学習 東日本屈指の古寺「浅草寺」	歴史ライター 小林 祐一
4	11月10日（火）	「浅草寺界わい」館外学習	歴史ライター 小林 祐一
5	11月17日（火）	講演「江戸風俗雑学」 落語「鰻沢」	ライター 湯川 博士

○ま と め

初回の「歌の宅配便」の広井さんには自身のオリジナル曲を多めにリクエストした。2回目の新座市の出前講座では、4月に熊本で大地震があったばかりで家の耐震性に興味がある人が多く、質問がかなり出て関心の高さを感じた。館外学習は浅草寺の成り立ちや発展の過程について事前学習を行い、現地での解説は対象物を目の前にしているのので、当時に思いをはせながら聞いた。最後は浅草寺本堂に上がり、小林先生にお経をあげてもらい、裏観音も見て、何度も浅草寺に行っている人も知らないスポットに案内され解説して頂いた。落語の「鰻沢」は笑いの多い話ではないが、話に引き込まれて聞き入っていた。その落語の前段としての江戸の社会のしくみや人々の暮らしの解説があったのでより落語にも理解が深められた。

シニアのためのスマートフォン入門講座

〈畑中公民館〉

- 開設趣旨 スマートフォンの基本的操作や防災対策を学ぶ。
- 期間 平成28年12月1日(木)
- 時間 午後1時30分～3時30分 (2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・20人
申込み多数の場合は11日(金)午前10時から公開抽選
- 参加者 20人
- 講師 KDDI(株)ケータイ教室認定講師
- 事業内容 スマートフォンの基本操作及び防災対策についてを学んだ。
- まとめ

毎回希望者の多い講座なので、今年は公開抽選にした。抽選当日、立会人がいなかったため、当日活動中のサークルの二人に補欠5名を含む25名を選出してもらった。前日までに4名のキャンセルがあったので補欠の方に参加してもらい、当日20名全員出席と意欲の高さが伺えた。まだスマホを使用していない人が多く、8名が購入検討ということだった。

講師二人で個々の操作に対応してくれた。前半は、基本操作について学んだ。後半は防災対策について学んだ。1日は災害用伝言板と災害用音声お届けサービスの「体験サービス」が利用できるということで、実際に試すことが出来た。良い体験となったようだった。

シニアのためのタブレット入門講座

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 タブレットの基本的な使い方や安全対策について学ぶ。
- 期 平成29年2月24日（金）
- 時 午後1時30分～3時30分 （2時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・20人
- 参 加 者 20人
- 講 KDDI ケータイ教室認定講師
- 事 業 内 容 タブレットについての基本操作、インターネット、アプリの活用方法及び安全対策について学んだ。

○ま と め

KDDI 株式会社が社会貢献活動として行っているシニア向け安心・安全講座から講師を派遣してもらい実施した。

スマートフォン講座と同じく大変関心が高く、参加希望者が多い講座なので抽選とした。当日活動中のサークルの二人の方に立ち会ってもらい当選20名と補欠5名の計25名を選出した。

講師側が用意したタブレットで実際に1人1台ずつ操作しながら、タブレットとは何か、基本操作、カメラの使い方、インターネット・アプリの活用方法を学んでいった。

講師陣に大変分かりやすく指導していただいたので、参加者からは「分かりやすく良かった」という声があがっていた。タップやフリック等のスマホ・タブレットの独自の操作方法やアプリについては戸惑った方も多く、「1回だけではなく、複数回開催してほしい」という要望もあった。

